

## 第5節 栗国島

### 第1項 取り組み概要

今年度は初年度ということもあり、受け入れ体制検証の為これまでに経験のないタイトなスケジュールを組み実施を行った。また、プログラム備品の選定をモニター参加者の声を聴きながら行った。宿泊施設に関しては、各宿でサービスに差があるため、1回の受入れに対して1つの宿で行えるように定員を組む事とした。

### 第2項 造成プログラム一覧

- 1 栗国島の海岸で「太古の火山活動」の痕跡を廻る
- 2 高低差96mの栗国島ウォーキング
- 3 新月の栗国島で「漆黒の闇」を体験(栗国ナイトウォーク)

### 第3項 実施ツアー一覧

＜参加者合計：32名＞

プログラム名	出発日	泊数	宿泊形態	定員	参加者数
栗国島の海岸で「太古の火山活動」の痕跡を廻る	16/11/14(月)	2泊3日	民宿	8名	8名
	16/11/29(火)	2泊3日	民宿	8名	4名
高低差96mの栗国島ウォーキング	16/12/05(月)	2泊3日	民宿	8名	7名
	16/12/09(金)	2泊3日	民宿	8名	4名
	17/02/24(金)	2泊3日	民宿	8名	3名
新月の栗国島で「漆黒の闇」を体験(栗国ナイトウォーク)	16/12/02(金)	2泊3日	民宿	8名	6名

※表中の( )内は助成対象外の内数

## 第4項 ツアー概要

### 1. 粟国島の海岸で「太古の火山活動」の痕跡を巡る

ツアー紹介文：

ココはどこ？と思ってしまう程、色々な地層が見られる粟国島。沖縄では珍しい、大規模な火山活動の痕跡が自然の風景として見られます。粟国島で太鼓の昔に思いをはせてみませんか？

行程表：

日	時間	行程
1 日 目	9:05	集合
	9:20	<b>【結団式】事業説明、諸連絡など</b>
	9:55	泊港よりフェリーにて出発
	12:10	粟国港到着
	12:30	昼食
		徒歩にてビジターセンターへ移動、コーディネーターと合流
	14:00	<b>【オリエンテーション】</b> 会場：ビジターセンター
	18:30	夕食  <b>(宿泊：島内民宿)</b>
2 日 目	7:00	朝食 フリータイム
	12:00	昼食
	13:30	<b>【モニタープログラム】粟国島の海岸で「太古の火山活動」の痕跡を巡る</b> 交流会会場へ移動
	19:00	<b>【夕食交流会】</b> 会場：パーラ豊幸  <b>(宿泊：島内民宿)</b>
3 日 目	7:00	朝食 チェックアウト ビジターセンターへ移動
	9:30	<b>【振り返りゆんたく会】</b> 会場：ビジターセンター ・意見交換、アンケート
	10:30	終了、アンケート回収 昼食
	14:10	粟国港よりフェリーにて出発
	16:20	泊港到着、解散

実施写真：



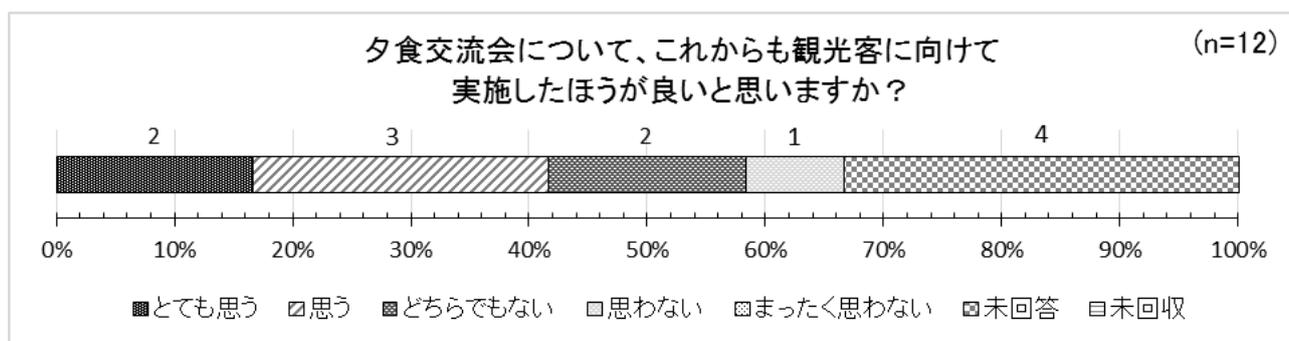
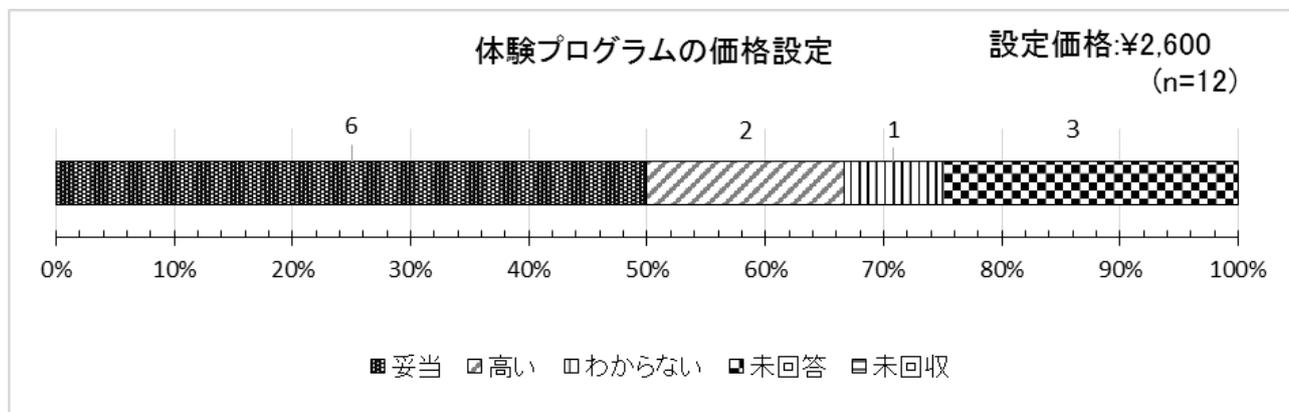
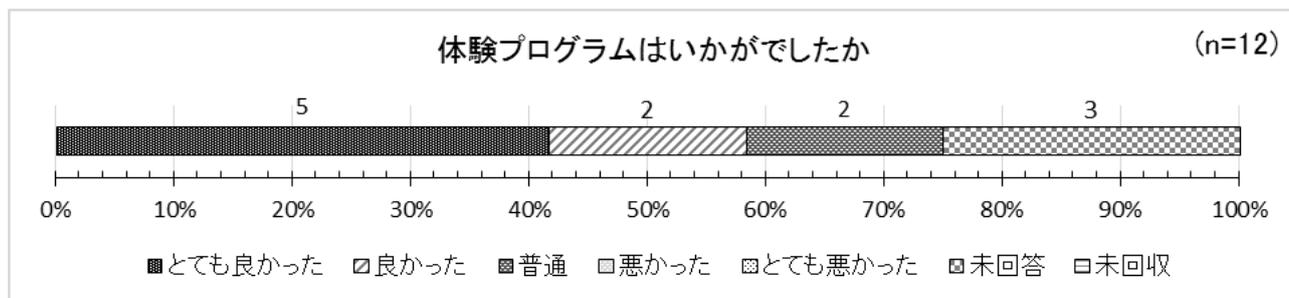
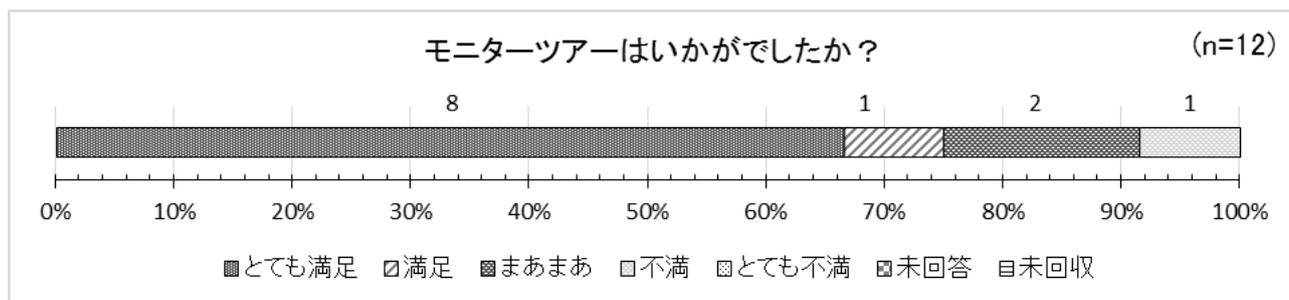
## ■成果

- ・栗国の地質の得意性を外部へアピールする事ができた。
- ・無理のない行程を組むことが出来た

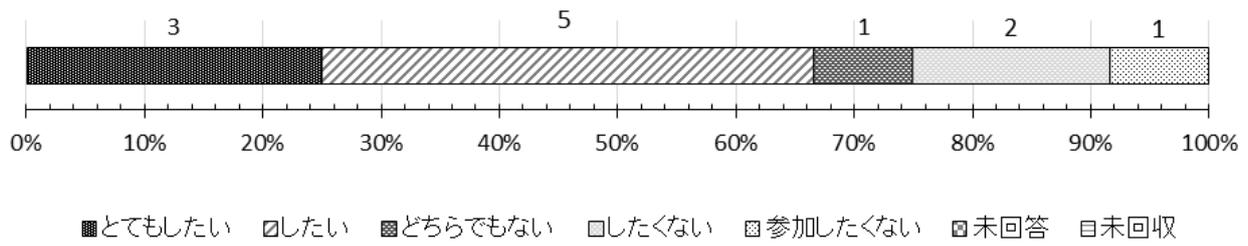
## ■課題

- ・オプション等で、もっとのんびりと見学ができるプランもあると良いという声が上がった。

モニターアンケート結果：



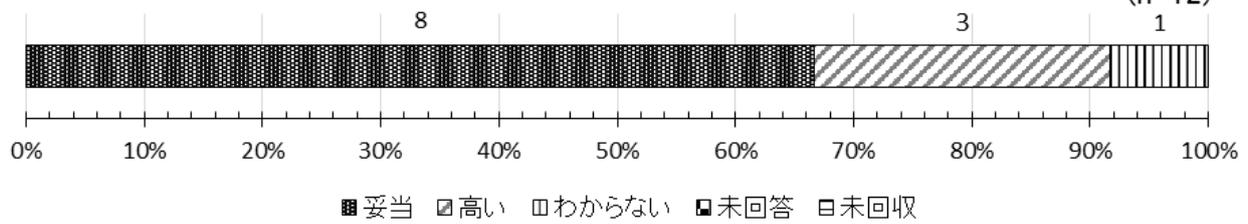
夕食交流会の価格について、自費(助成無し)でも参加したいと思いますか？ (n=12)



夕食交流会の価格設定

設定価格:¥4,000

(n=12)



## 2. 高低差96mの粟国島ウォーキング

### ツアー紹介文：

沖縄の原風景とも言える綺麗なフクギ並木が残る集落内と、自然豊かな島の南側をウォーキング。島のガイドも一緒に歩くので、歩きながら粟国島を知ることが出来ます。ノルディックウォークでのご参加もちろんOKです。

### 行程表：

日	時間	行程
1 日 目	9:05	集合
	9:20	<b>【結団式】事業説明、諸連絡など</b>
	9:55	泊港よりフェリーにて出発
	12:10	粟国港到着 徒歩にて宿泊先へ移動 昼食
		徒歩にてビジターセンターへ移動、コーディネーターと合流
	14:30	<b>【オリエンテーション】</b> 会場：ビジターセンター フリータイム
	18:30	夕食 <span style="float: right;">(宿泊：島内民宿)</span>
2 日 目	7:00	朝食 ビジターセンターへ移動
	8:45	<b>【モニタープログラム】高低差 96m の粟国島ウォーキング</b>
	14:00	終了 昼食 フリータイム 交流会会場へ移動
	19:00	<b>【夕食交流会】</b> <span style="float: right;">(宿泊：島内民宿)</span>
3 日 目	7:00	朝食 チェックアウト ビジターセンターへ移動
	9:30	<b>【振り返りゆんたく会】</b> 会場：ビジターセンター ・意見交換、アンケート
	10:30	終了、アンケート回収 昼食 フリータイム
	14:10	粟国港よりフェリーにて出発
	16:20	泊港到着、解散

### 実施写真：



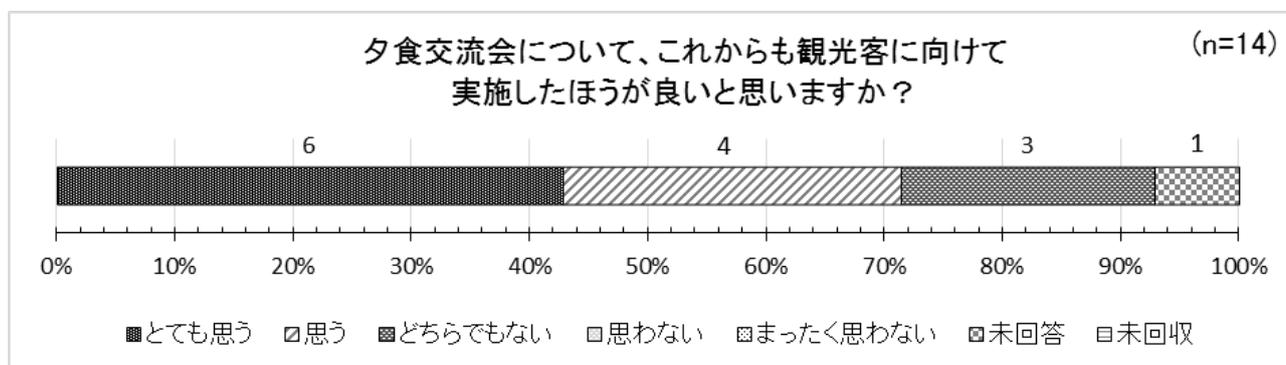
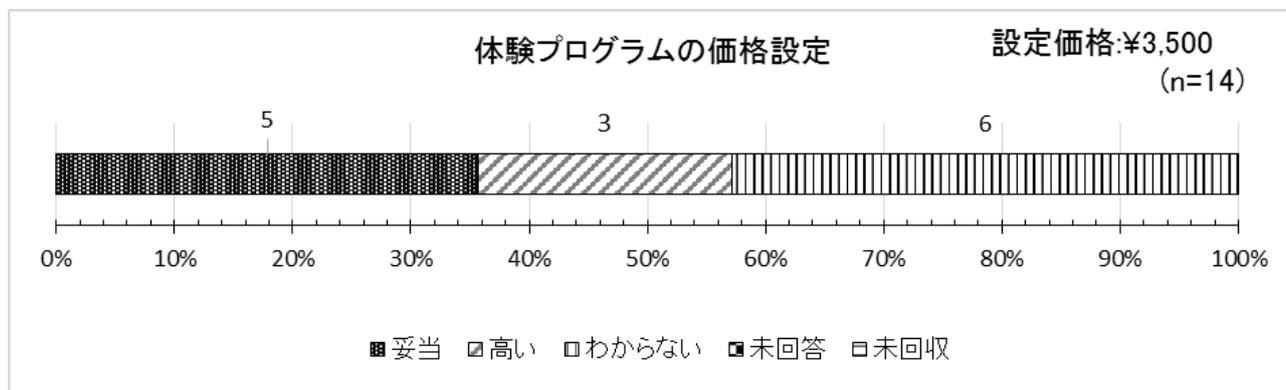
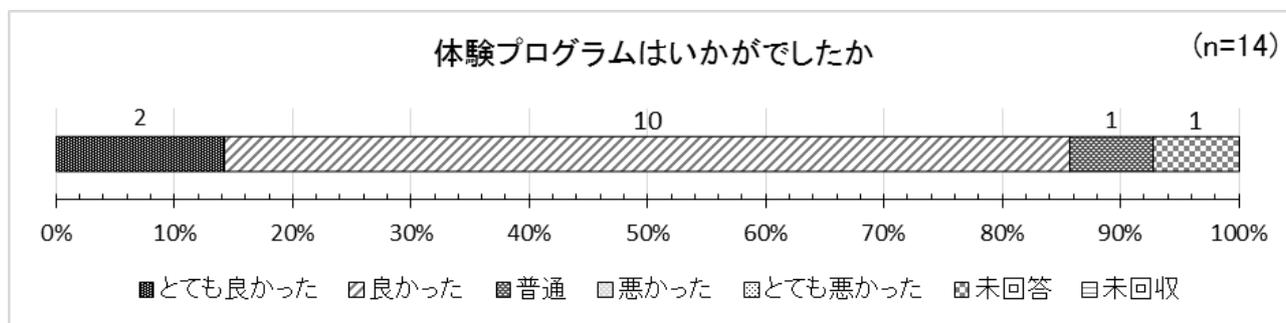
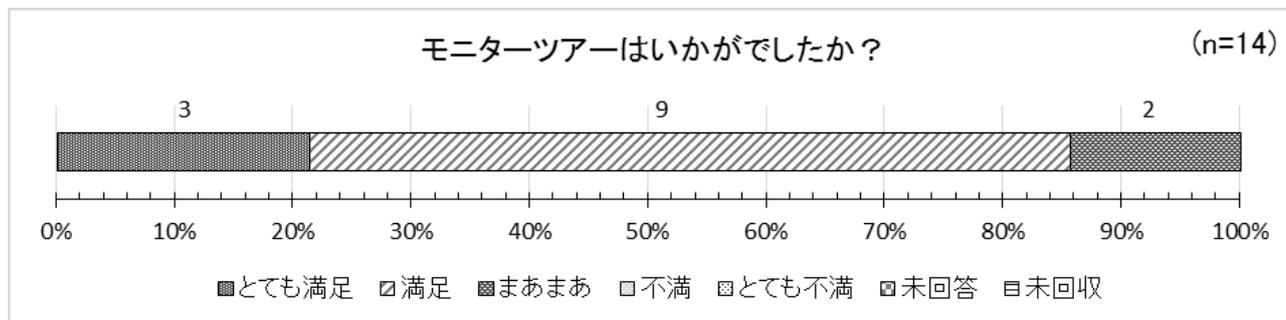
■成果

- ・ポイント毎にしっかりと案内を行いながらプログラムを進めることが出来た。

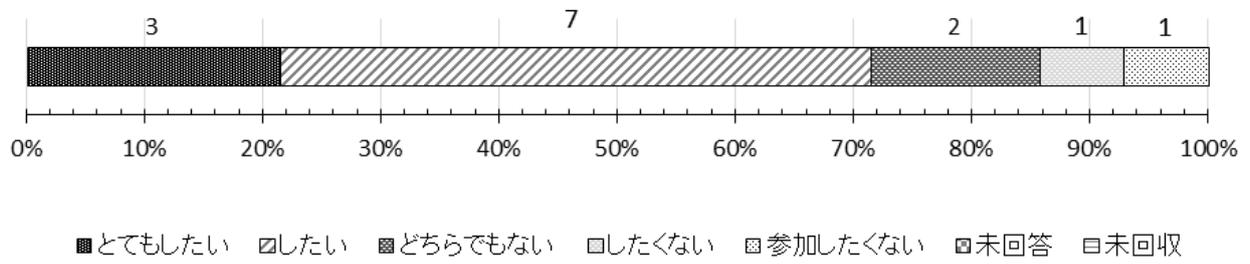
■課題

- ・コース途中からはトイレがないので、今後対応策が必要と思われる。

モニターアンケート結果：

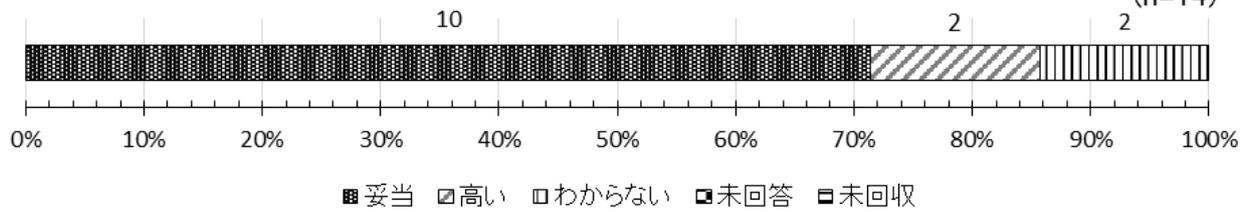


夕食交流会の価格について、自費(助成無し)でも参加したいと思いますか？ (n=14)



夕食交流会の価格設定

設定価格:¥4,000 (n=14)



### 3. 新月の粟国島で「漆黒の間」を体験(粟国ナイトウォーク)

ツアー紹介文：

約200年前に雲水という僧侶が住んでいたと言われる鍾乳洞、今では粟国島の聖地とされている「洞寺(テラ)」。そこで全く明かりのない新月の暗闇体験や街灯1つない夜の道を歩きます。夜の何とも言えない雰囲気です。パワーを充電しませんか？

行程表：

日	時間	行程
1 日 目	9:05	集合
	9:20	【結団式】事業説明、諸連絡など
	9:55	泊港よりフェリーにて出発
	12:10	粟国港到着
	12:30	昼食
	14:30	徒歩にてビジターセンターへ移動、コーディネーターと合流 【オリエンテーション】会場：ビジターセンター
	18:30	夕食 【モニタープログラム】新月の粟国島で「漆黒の間」を体験
	22:00	終了  (宿泊：島内民宿)
2 日 目	7:00	朝食 ビジターセンターへ移動
	8:45	フリータイム 終了
	12:00	昼食 フリータイム
	19:00	【夕食交流会】会場：パーラ豊幸  (宿泊：島内民宿)
3 日 目	7:00	朝食 チェックアウト ビジターセンターへ移動
	9:30	【振り返りゆんたく会】会場：ビジターセンター ・意見交換、アンケート
	10:30	終了、アンケート回収 昼食
	14:10	粟国港よりフェリーにて出発
	16:20	泊港到着、解散

実施写真：



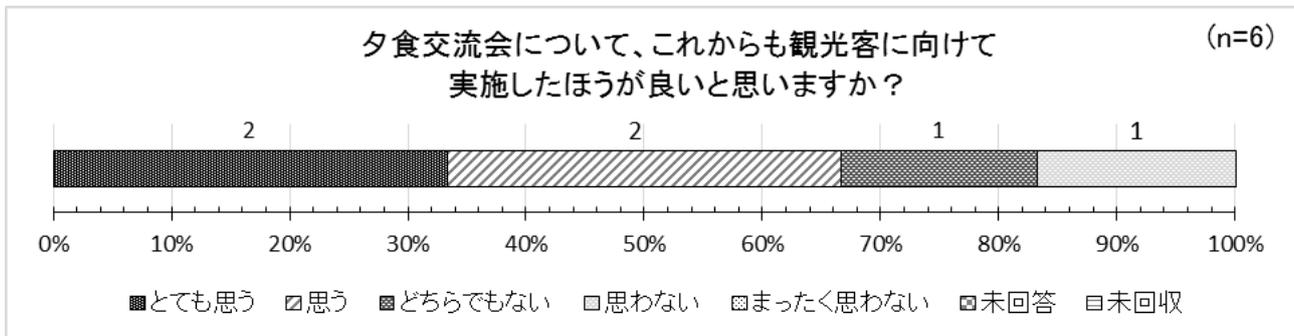
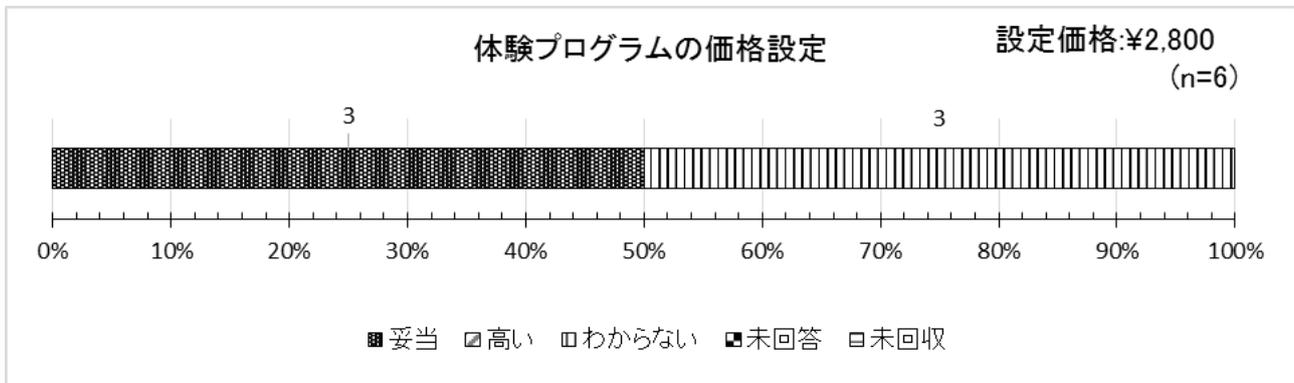
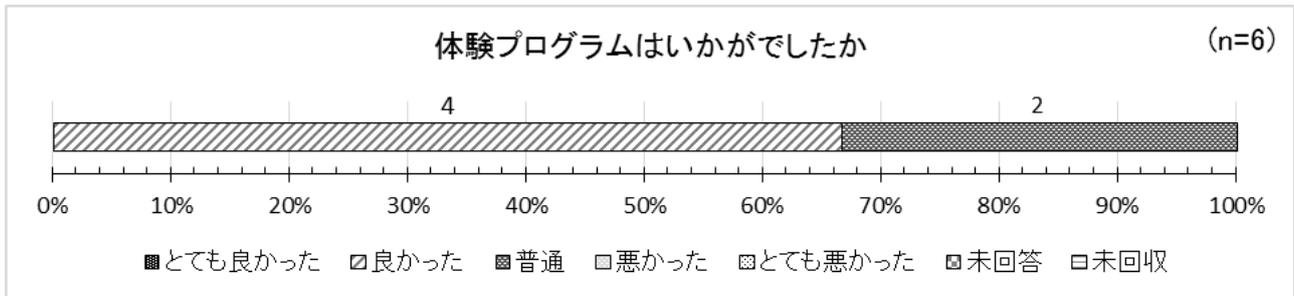
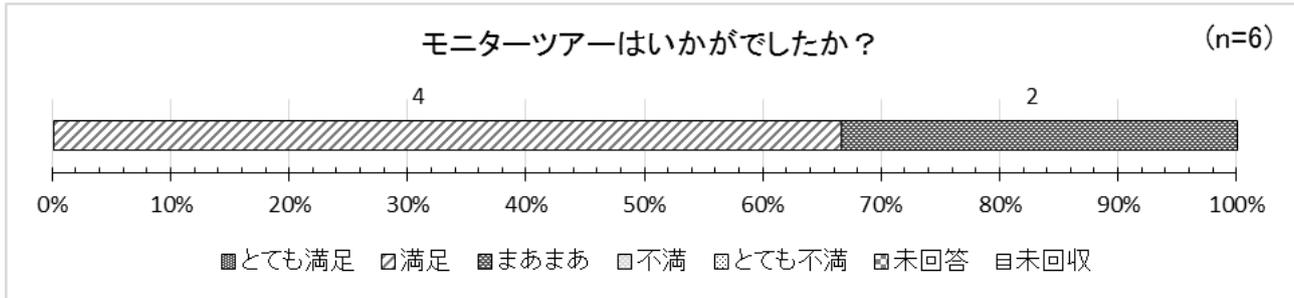
## ■成果

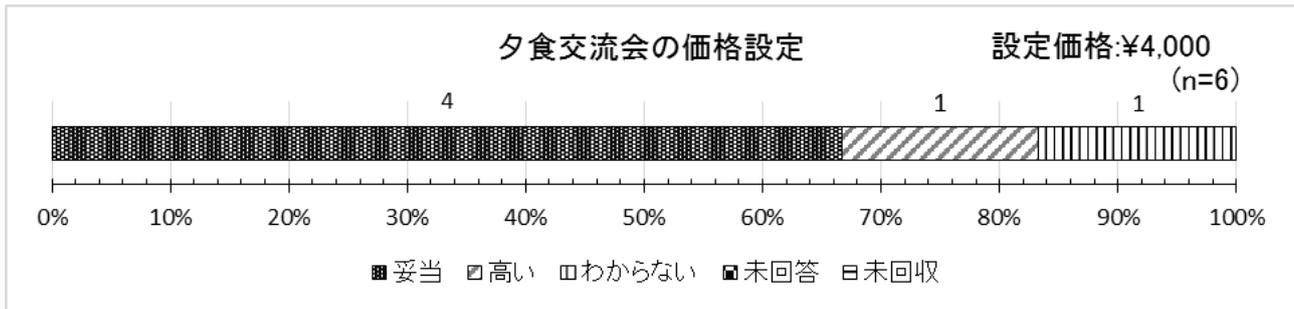
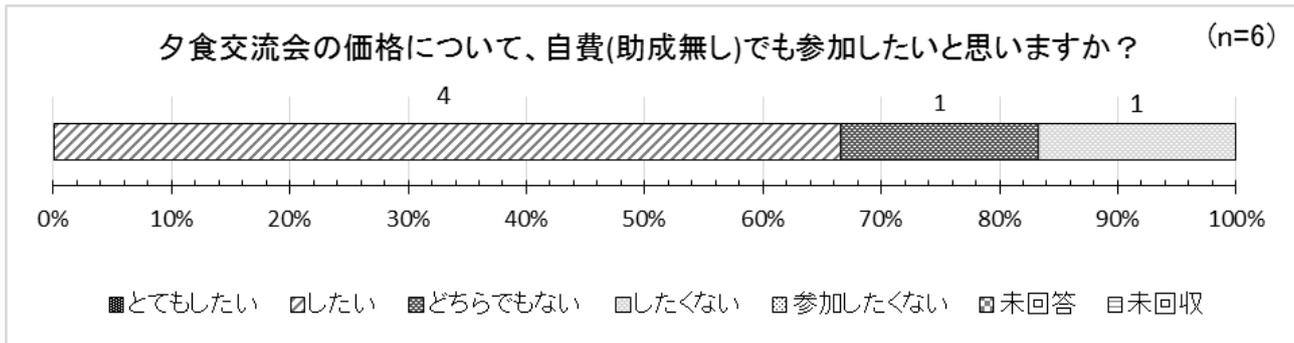
- ・初めての実施であったが、今後に向けた課題(下記)が明確になった。

## ■課題

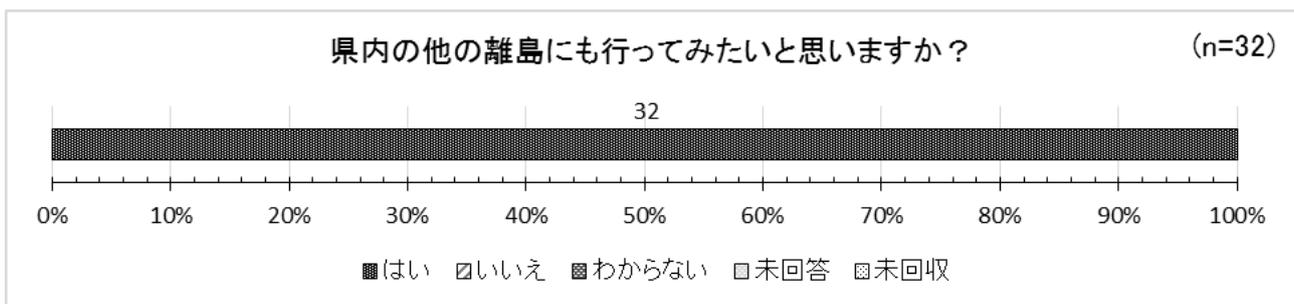
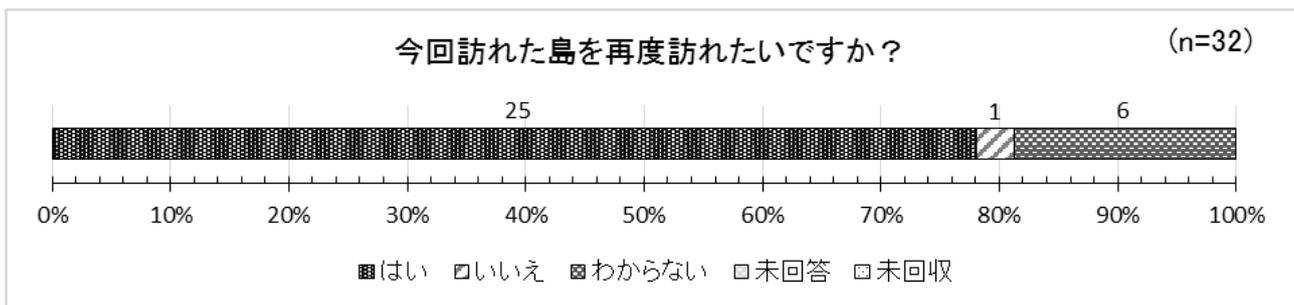
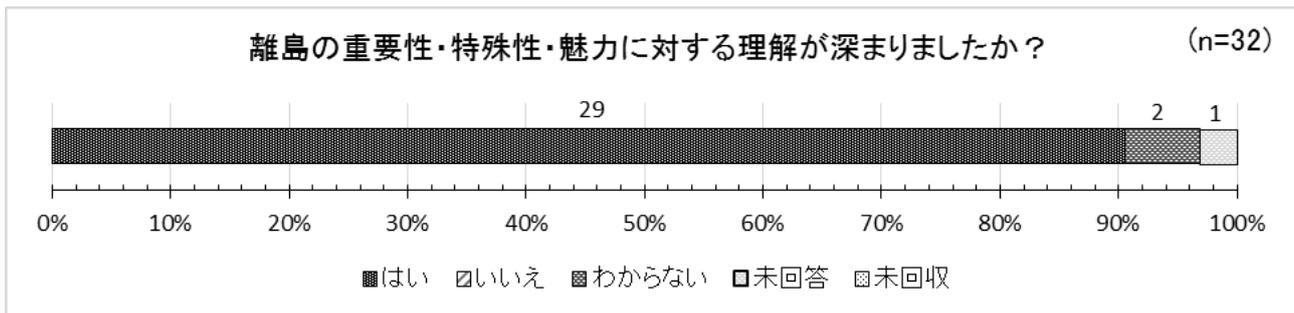
- ・天候に影響され十分な実施が行えなかったため、次年度での再実施や代替案充実の検討が必要と思われる。

モニターアンケート結果：



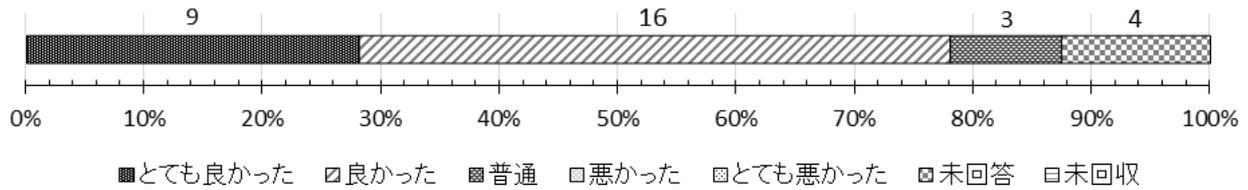


## 第5項 島に関するアンケート結果



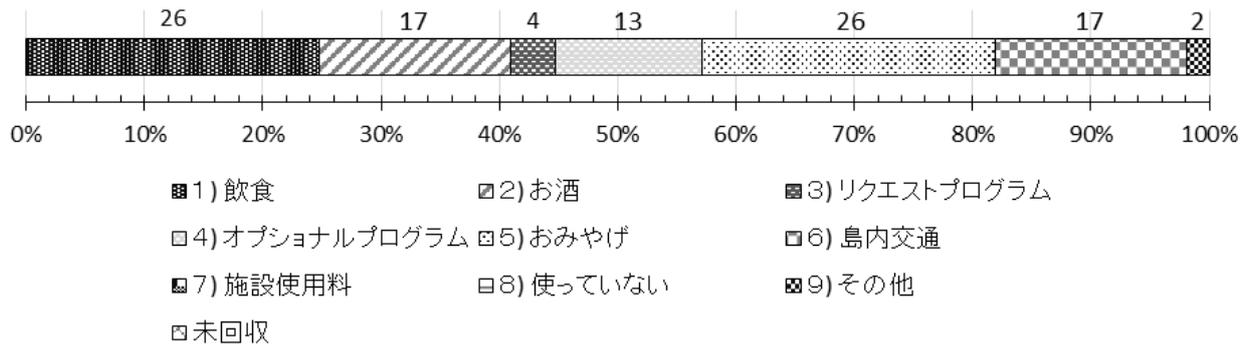
島に着いてからのコーディネート(段取り)はいかがでしたか？

(n=32)



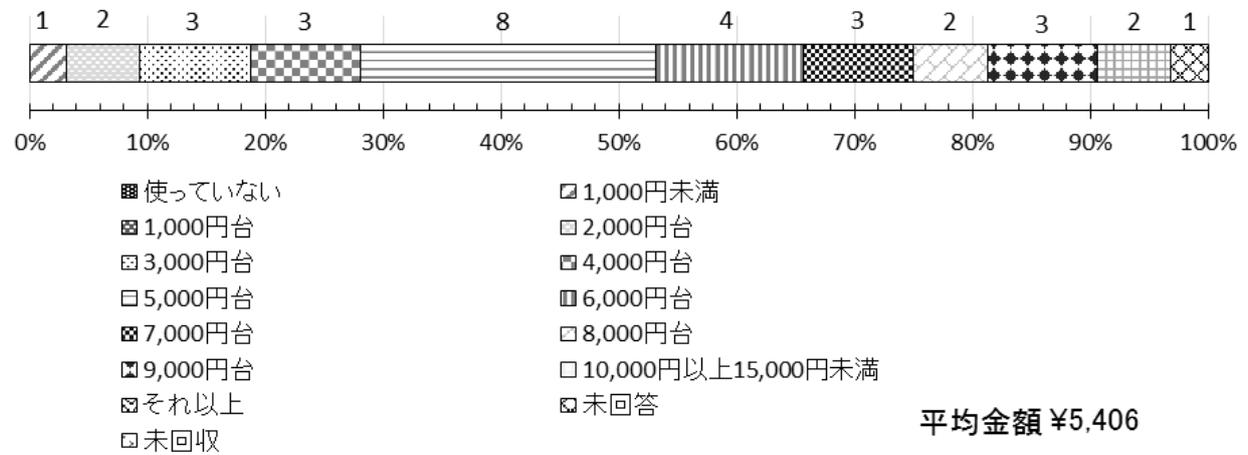
何に対してお金を使いましたか

(※複数回答可)



使用した合計金額

(n=32)



## 第6項 島の声

- ・今回の参加者には、写真が趣味のグループや個人の方いた。自分自身も写真が趣味なのでツアーの時間を延長して撮影会ようになる事もあり、個人的にも楽しかった。
- ・ウォーキング体験では、ノルディックストックを導入したところ、好評だったので、プログラムの商品化に向けた手応えを感じる事が出来た。次年度の夏を目処に商品化を進めていく予定である。
- ・交流会に関して、島の方は普段観光客と接する機会は少ないので、交流の機会を楽しんでいた。
- ・今後もお客さんのフリータイムを尊重しながらツアープランを練られるように、コーディネートやサポートの体制を整えていきたい。

## 第7項 参加者の声

- ・漆黒の闇ツアーは、暗闇の中を歩くことで日常生活の電気のありがたさを実感。エコツアーとして現地教育として企画出来そうなプログラムだと思った。
- ・フリータイムが多く自分の時間が多くとれた。企画を詰め込み過ぎず個人的には丁度良いスケジュールであったのが良かった。
- ・ノルディックウォーキングのストックがとても役立った。コースは初級・中級・上級と分けてもいいかなあと思いました。(スタッフの負担は大きくなるかもしれませんが)
- ・観光客を受け入れようと展望台標識をはじめ、色々と整備されており素晴らしい。どんどんアピールして沢山の人の手に届くという反面、人が入り込むと自然などの美しさが壊されていくようで今のままの方がいいのかな…。

## 第8項 成果

コーディネーターより「比較的タイトなスケジュールであったにも関わらず、島内各所(交通やプログラム実施関係者)との調整も大きなトラブルもなく実施することが出来た」との報告があった。次年度以降はコーディネーター増加を予定しているため、次年度からの展開に期待が持てる。「高低差96mの栗国島ウォーキング」に関しては、H29年の夏頃から観光協会の正式メニューとして、商品化できそうな目処が立っているようである。

最終日の昼食として、そば屋を行程に組み込んでみたところ、参加者にも事業者(そば屋)にも喜んで頂けたようであるため、今後の定番として確立できるのではないかと期待が持てる。(乗船前なので、消化が良く体への負担が少ないことに加え、栗国島での昼食確保は以前より課題となっていた)

## 第9項 課題

宿ごとに宿泊に関するルールがあるので、それをオリエンテーションや、チェックインの際に参加者に知らせる必要がある。例えば「タオルは1階の棚から自由に使用してよい」等。これまで栗国の宿においては、新規の方ばかりが泊まる事は少なかったようで、今後に向けた新たな課題が見えている。

また、栗国島においては昼食手配が難しいことがあるので、食事手配に関してもキャンセルポリシーのような明確なルールづくりを推進しても良いかもしれない。プログラムに関しては雨天時対応の物を増やしていけると良いだろう。若い参加者からは「集落散策時などにもっと島の人と話しをしながら交流をしたい」という声が上がったので、今後の参考にできるだろう。